

範囲指定なし 第6問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適当と思われるものを選ぶこと。

1. 佐賀物産(株)は、商品を¥200,000 で福岡工業(株)に販売し、代金のうち¥150,000 は大分商事(株)振り出しの約束手形を裏書譲渡され、残額は以前に当社が振り出した自己振出小切手で受け取った。
2. ×3年12月19日に、宮崎物産(株)は売買目的で熊本商事(株)の社債(額面金額¥5,000,000、利率年3.65%、利払日3月末と9月末)を鹿児島物産(株)より額面¥100につき¥97(裸相場)で購入し、代金は端数利息も含めて小切手を振り出して支払った。なお、端数利息は1年を365日として日割で計算する。
3. 福岡商事(株)は、長崎商事(株)に対する買掛金¥400,000の支払いを電子債権記録機関で行うため、取引銀行を通して債務の発生記録を行った。
4. 建物の修繕を行い、代金¥1,800,000を小切手を振り出して支払った。なお、このうち¥500,000は資本的支出であることが判明した。また、この修繕のために修繕引当金が¥1,000,000設定されている。
5. 商品¥100,000をクレジット払いの条件で販売した。なお、信販会社へのクレジット手数料(販売代金の2%)を販売時に認識する。
6. 備品を年間リース料¥300,000、期間5年の条件でリースした。当該備品の見積現金購入価額は¥1,200,000である。なお、当該リース取引は、ファイナンス・リース取引に該当し、利子抜き法により処理するものとする。
7. 決算にあたり、当期の法人税等の金額が¥700,000と確定した。なお、当社は中間申告時に¥400,000を納付している。
8. 山口支店は、広島支店の得意先に対する売掛金¥300,000について、手形を受け取って回収した。当社は支店相互間の取引について、本店集中計算制度を採用している。当該取引に関して、本店の仕訳を行いなさい。
9. 受取地代¥420,000は当期の2月1日に向こう1年分を受け取ったものである。決算にあたり、収益の前受けに関する仕訳を行う。なお、当社の決算日は3月31日である。
10. 親会社は、当期において子会社に対して商品を販売しており、その売上高は¥2,700,000である。なお、子会社の親会社からの商品仕入高は¥2,700,000である。連結上必要な収益と費用の相殺消去仕訳を行いなさい。

範囲指定なし 第6問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	受取手形 当座預金	150,000 50,000	売 上	200,000
2	売買目的有価証券 有価証券利息	4,850,000 40,000	当座預金	4,890,000
3	買 掛 金	400,000	電子記録債務	400,000
4	建 物 修繕引当金 修 繕 費	500,000 1,000,000 300,000	当座預金	1,800,000
5	クレジット売掛金 支払手数料	98,000 2,000	売 上	100,000
6	リ ー ス 資 産	1,200,000	リ ー ス 債 務	1,200,000
7	法 人 税 等	700,000	仮払法人税等 未払法人税等	400,000 300,000
8	山 口 支 店	300,000	広 島 支 店	300,000
9	受 取 地 代	350,000	前 受 地 代	350,000
10	売 上 高	2,700,000	売 上 原 価	2,700,000

【解説】

2. 端数利息；31日(10月)+30日(11月)+19日(12月)=80日、
 $\text{¥}5,000,000 \times 3.65\% \times 80 \text{ 日} / 365 \text{ 日} = \text{¥}40,000$
 取得原価； $\text{¥}5,000,000 \div \text{¥}100 = 50,000 \text{ 口}$ 、 $50,000 \text{ 口} \times \text{¥}97 = \text{¥}4,850,000$
5. 支払手数料； $\text{¥}100,000 \times 2\% = \text{¥}2,000$
9. $\text{¥}420,000 \times 10 \text{ か月} / 12 \text{ か月} = \text{¥}350,000$